

IASB 公開草案「顧客との契約から生じる収益」を読み解く

国際会計基準審議会（IASB）と米国財務会計基準審議会（FASB）は、本年6月24日に、公開草案「顧客との契約から生じる収益」を公表いたしました。採用された場合、本公開草案は国際財務報告基準（IFRS）と米国会計基準（GAAP）にのっとる単一の収益認識基準となり、種々の業種や資本市場にまたがって適用されることとなります。

そこで今回は、本公開草案に関する解説を記載するとともに、関係者の声として、作成者、監査人、利用者それぞれのお立場から本公開草案に対するご意見、ご感想等をご寄稿していただきました。また、あわせて、ASBJからIASBへのコメント（10月22日提出済）を掲載しております。

1. はじめに	41
	<small>みやこ まさじ</small> ASBJ 常勤委員 都 正二
2. IASB 公開草案「顧客との契約から生じる収益」について	42
	<small>ちゅうじょう えみ</small> ASBJ シニア・プロジェクト・マネージャー 専門研究員 中條 恵美
3. 関係者からの意見発信～産業界、監査人、証券アナリストの立場からの IASB 公開草案に対する意見及び懸念事項～	51
産業界からの意見発信	
住友商事(株)フィナンシャルリソースズグループ長補佐（IFRIC 委員）	<small>おうち たかつぐ</small> 鶯地 隆継
監査人からの意見発信	
新日本有限責任監査法人 シニアパートナー	<small>まつおか ひとし</small> 松岡 寿史
証券アナリストからの意見発信	
日本証券アナリスト協会、企業会計研究会委員 大和住銀投信投資顧問(株)シニア・ファンド・マネージャー	<small>くぼた まさゆき</small> 窪田 真之
4. IASB 公開草案「顧客との契約から生じる収益」に対する ASBJ からのコメント（原文）	55